

# 粉体試薬 鉄 100 袋

## 取扱説明書

### ■概要

本製品は、上水試験方法の 1, 10-フェナントロリン法と同じ発色原理を使用しており、水道水などの鉄を含む検水に本製品を 1 袋加えると淡橙～濃橙に呈色します。

「ハンディ水質計 “アクアブ” 鉄 AQ-104」を使用して鉄の測定を行います。

### ■中に入っているもの

- ・アルミ袋入り試薬（鉄） 100 袋

### ■安全上のご注意（必ず守ってください）

- ・絶対に口や目に入れないでください。
- ・子供の手が届く場所には置かないでください。
- ・本製品を他の用途に使わないでください。本書に記載している以外のご使用は安全について保証できません。

#### もしも粉体試薬や発色液が付着したり、体内に入ったりしたときは

- 目に入ったとき  
すぐに多量の水で 15 分以上十分に洗い流してください。
- 皮膚や衣類に付着したとき  
すぐに付着・接触した部分を多量の水で充分洗い流してください。
- 吸い込んだとき  
新鮮な空気の場所に移って安静にし、鼻をかみ、充分うがいをしてください。
- 飲み込んだとき  
大量の水を飲んで吐いてください。

注意 1: 上の対処方法はあくまでも応急処置です。処置の後にも異常がある場合は、速やかに医師へご相談ください。

注意 2: アレルギー体質や肌の弱い人は、あらかじめ水を通さない手袋をして作業を行ってください。

### ■使用方法

詳しくは、アクアブ本体の取扱説明書をご参照ください。

#### 【ゼロ点認識】

- ① きれいな試料セル（アクアブ本体付属品）に検水を 10mL（目安線まで）入れます。
- ② きれいなラボーパー等で試料セルの指紋や汚れ、水滴を拭き取ります。
- ③ 試料セルをアクアブ本体の測定室にセットします。このとき、試料セルとアクアブ本体の▲マークを必ず合わせてください。
- ④ [ZERO]キーを押します。
- ⑤ 液晶ディスプレイに 0.0 mg/L を表示します。（“ZERO”点灯）

#### 【濃度測定】

- ⑥ 本製品を 1 袋（1 回分）封を切ります。
- ⑦ 試薬を加えて蓋をし、良く振り混ぜます。  
このとき一部溶け残る試薬がありますが、測定には影響がありません。
- ⑧ 試料セルをアクアブ本体の測定室にセットします。このとき、試料セルとアクアブ本体の▲マークを必ず合わせてください。
- ⑨ 粉体試薬を入れてから 2 分後に [MEAS.] キーを押します。
- ⑩ 液晶ディスプレイに鉄濃度 (mg/L) を表示します。（“MEAS.”点灯）

## ■全鉄の測定

赤水など、イオン化していない鉄を含んだ検水の全鉄を測定したい場合は、前処理として検水に希塩酸などを加えて加熱し沸騰させます。これを室温まで冷ました後、水酸化ナトリウム溶液を加え pH2~9 にしてから、本製品で測定を行ってください。詳しくは、上水試験方法の前処理をご参照ください。

## ■共存物質による影響

検水中に含まれる共存物質が発色に影響を与える場合は、上水試験方法と比較し測定値をご確認ください。

### ● 影響を受けないもの

1000mg/L 以下の $B^{3+}$ , $Br^{-}$ , $Ca^{2+}$ , $Cl^{-}$ , $F^{-}$ , $I^{-}$ , $K^{+}$ , $Na^{+}$ , $NH_4^{+}$ , $NO_3^{-}$ , $SO_4^{2-}$
500mg/L 以下の $Mg^{2+}$
20mg/L 以下の $NO_2^{-}$
5mg/L 以下の $Mn^{2+}$ , $Mo^{6+}$

### ● 少しでも影響を受けるもの

$Al^{3+}$ , $Ba^{2+}$ , $Cu^{2+}$ , $PO_4^{3-}$ , 残留塩素
--------------------------------------------------------

## ■測定上のご注意と保管についてのお願い

- ・有効期限内の試薬をご使用ください。(有効期限は箱の製品ラベル右下に印字)
- ・5~30℃の検水で測定を行ってください。
- ・検水の pH が 2~9 の範囲を超える場合は、希塩酸または希水酸化ナトリウム溶液等で中和してください。
- ・発色した液の色は時間が経過すると濃くなりますので、粉体試薬を入れてから 2 分で測定してください。
- ・着色した試薬は使用しないでください。保管状態によっては有効期限内であっても試薬が着色する可能性がありますので、湿度の低い冷暗所にて保管してください。
- ・開封したビニール袋に未使用の試薬が残っている場合は、密閉して乾燥した冷暗所にて保管してください。なお、開封後は早めに使い切ってください。特に夏場や梅雨時、湿度の高い場所に保存すると、数日で劣化することがあります。

## ■測定が終了したら・・・(本試薬の廃棄)

- ・発色液は多量の水とともに下水へ流したのち、使用したセルはすぐに良く水洗いしてください。
- ・使用済みのアルミ袋やその他不要になったものは必ず持ち帰り、各自治体の指示に従いそれぞれを処分してください。

21.05.28K (03)

 **柴田科学株式会社**

カスタマーサポートセンター (製品の技術的サポート専用)  
 0120-228-766  FAX 048-933-1590

<http://www.sibata.co.jp>